

編集室

謹賀新年

皆さまにとりまして昨年はどうのような1年でしたか。平成25年を振り返ると、まずアベノミクス効果も手伝い円安、株高のお陰で多くの企業は業績も上がり、日本経済は復活の兆しを見せ、税収の増加も期待できます。お持ちの金融資産の価値も上がり、ニコリとされた方も多いかも知れせんね。われわれ県医師会が新会館建設用に債券などで準備していた資産もある程度価値が戻り、また会員の理解を得て予定額を増額できたお陰で、なんと9月に県の高精度放射線治療センター(仮称)と新会館の合築で建設契約ができました。2年後の完成が待ち遠しいものです。

さて、地球の異常気象がもたらした災害も、われわれに甚大な影響を与えました。特に台風26号は伊豆大島に土石流災害を、また30号はフィリピンに死者・行方不明7,800人超の甚大な被害を引き起こしました。その被災の中心地タクロバンには姉妹都市の福山市では、AMDAの要請で医師会より医療支援も行いました。さらに大雨災害でSLの走る山口線は寸断され、猛暑では四万十市で史上最高の41.0℃を記録しました。またエジプトでは、逆に寒波により100年ぶりに積雪となるなど、昨今の異常気象は不吉で脅威です。

脅威と言えば、中国の脅威はますます増えています。破竹の勢いの経済にやや陰りが見られますが、尖閣諸島を含むわが国の領域に突然の防空識別圏を設定しました。大気汚染が深刻な中国から飛来するPM2.5も非常に気になるところです。

スポーツ界ではまず柔道界の暴力問題から始まりましたが、スキージャンプで16歳の高梨選手がワールドカップで女子個人総合優勝し、体操の世界選手権でも17歳の白井選手が、ひねり王子としてF難度のシライで床で金メダルを取り、世界を相手にまったく動じない頼もしい高校生を印象づけ、将来の日本は健在なりと感じま

した。しかし圧巻は楽天田中投手の公式戦24勝無敗、通算30連勝でしょう。まさに完璧な記録にただ感服するのみです。一方カーブのクライマックスシリーズ進出や、サンフレッチェの奇跡の逆転優勝など地元スポーツ界も沸きました。

スポーツと言えば、スポーツの祭典オリンピックの2020年夏季大会の東京開催決定は、経済効果も含め朗報です。私が小学1年生時以来の56年ぶりの開催で、東海道新幹線や首都高開通など、日本のインフラ整備の起点として大きく貢献しました。さすがに今回ルートが公表されたリアモーターカーは間に合いそうにありませんが、大いに期待したいものです。ただし招致のためのプレゼンでの「おもてなし」で、「倍返し」や「じえじえじえ」とともに流行語大賞を受賞した滝川クリステルとは対照的に、医療法人徳洲会から5,000万円を個人的に借りたと主張し、辞任した猪瀬東京都知事はいただけません。政治不信が募るだけでなく、医療界に対し厳しい目が向けられることになりました。

政治と言えば、政府の決断で混合診療解禁問題を含むTPP交渉参加や、来年度からの消費税率8%へのアップ、さらに多くの反対意見があるにも係わらず、強行に採決した特定秘密保護法案など、7月の参議院選で衆参のねじれもなくなり、ますます安倍政権は強気で突き進むのはやはり不安です。

さて今年は、早速4月に消費増税と診療報酬改定があります。消費税を患者さんに転嫁できないため、たとえ0.1%の微増になったとしても実質減が予想され、われわれ医療機関の経営を圧迫することは必至です。しかし冬季オリンピッククイヤーでもあり、日本人選手の活躍など明るい話題を期待しながら、よい一年になることを願いましょう。

(岩崎 泰政)

広島県医師会速報 2014年(平成26年)1月5日

- 発行所／社団法人 広島県医師会 〒733-8540 広島市西区観音本町一丁目1番1号 TEL 082-232-7211 FAX 082-293-3363
広島県医師会HP <http://www.hiroshima.med.or.jp/> E-mail: kouhou@hiroshima.med.or.jp
- 編集者／広島県医師会会長 平松 恵一
(広報委員)生田 隆徳、豊田 神敬、小園 亮次、佐々木 龍司、豊田 章宏、中尾 三和子、奈良井 章人
林谷 道子、檜山 桂子、茗荷 浩志、吉田 良順、小笠原 英敬、水野 正晴、岩崎 泰政
- 印刷所／レタープレス株式会社 〒739-1752 広島市安佐北区上深川町809番地の5 TEL 082-844-7500 FAX 082-844-7800